

SGコースって、どんなコース？

～What we talk about when we talk about SG Course～

先日の学年集会でSGコースについて説明しました。その際に、「SGコースならではのプログラム」について少しだけお話しましたが、他にもいろいろプログラムがありますので、今回は紙面でそれらについて紹介します。いずれも「SG探究」の授業と連動したものになります。

- ・ **国連大学訪問研修**（1年次3月）：SGコースのスタートアップ研修として、1年次の春休みに東京の国連大学を訪問するなど、1泊2日の東京研修を行います。
- ・ **京都大学大学院思修館研修**（2年次に2回）：研究者として実際に活動する京都大学の大学院生に、1グループに1人ずつ付いてもらい、課題研究の流れ、取るべき手順やアイデアの出し方、分析する視点を助言してもらいます。
- ・ **アジアユースリーダーズ**（2年次8月）：希望者参加。全国から派遣された高校生たちが、他のアジアの国の高校生たちと与えられた課題についてオールイングリッシュで解決策を議論・提案する3～6日間ほどのプログラムになります。英語でコミュニケーションが取りたくてうずうずしている生徒にはうってつけのプログラムです。
- ・ **米国海外研修**（2年次10月）：7泊8日の研修旅行で、グローバルマインドや実践的英語力の育成を図ります。昨年と一昨年はコロナ禍のため残念ながら実施できませんでしたが、過去の研修では、国連職員からの講義、ユニセフ職員の講義、プリンストン大学で学生との意見交換、プリンストン高校での授業参加、2泊3日のホームステイ、ブロードウェイで俳優として活躍する本校卒業生で俳優の由水みなみさんのワークショップなどがありました。



【生徒の感想】プリンストン大学のキャンパスツアーを通し、海外の大学への進学という手も十分にあり得ると知り、大学選びの選択肢や自分の視野そのものが広がったと思う。プリンストン大学で日本語を勉強している学生の方々との交流会は、話も弾み、とても良い形で締めくくることができたと思う。今日築いた関係がこれからずっと続いていくと嬉しい。課題研究についても、沢山の方々から賛同を得られたので、大きく自信がついた。



・ **課題研究発表会**（2年次1月）：

2年次の集大成として自分たちの課題研究について日本語でプレゼンテーションを行います。アドバイザーとして大学の先生、国連大学のスタッフ、探究活動の専門家、京都大学思修館の大学院生を招待し、活発に議論を行うことで研究を深めるきっかけになります。

・ **北アジアCAPEとのオンライン交流**（3年次4月）：ニュージーランドの大学に通う外国人学生とオンラインで交流し、日本文化や自分たちの研究テーマについてディスカッションを行います。



・ **課題研究成果発表会**（3年次7月）：SGコースの最終ゴールとして行われる英語発表会。2年次の「課題研究発表会」を踏まえて、グローバルな視点を盛り込み発展させた内容を英語でプレゼンテーションします。外国人の留学生や県内在住の外国人の方々を招待し、質疑応答もすべて英語で行われます。それまでに培ったより高度な英語力の実践の場となります。

◆ **先輩からのメッセージ**

全員がやる気に溢れている。探究のときの**積極性**は言うまでもなく、普段の授業でも質問が飛び交ったりして授業が**深まる**し、テスト期間はみんな一生懸命だから自分も勉強する気になる。

文理混合なので色々な考え方に触れられる。英語を話す機会が多いので、英語を話すことに対する抵抗がなくなり、英会話の力もつく。探究でプレゼンのスキルや真剣に頑張るという経験ができる。

意欲が高く、**個性が豊か**で一人ひとりに強みがある。また、イベントを開いたりフィールドワークに行ったりなどいろいろなことができる。学校外の**大人と交渉**したり、協力したりする能力がつく。

探究活動、部活動、勉強全ての面で常に**全力投球**なクラスメイトにいい刺激を受けることができる。探究活動だけに専念する人は少なく、忙しいなかの限られた時間で効率よく作業をする力も自然と身につく。

探究の授業時間が多いため、より自分の興味のある、**深い探究活動**を行える。先生方に探究を支えていただけるし、生徒も探究を頑張ろうと思っている人が多いので、思う存分探究ができる。

何かの分野のプロフェッショナルがいるから勉強の質問をしやすく、いい刺激を貰える。**勉強でも授業でも行事でも探究でも**みんなの意識が高いため充実した日常生活を送れる。

周りのレベルが高く、一緒に過ごしているだけで、自分の意識も高まる。同じ目標に向かう人が多いため、一緒に**切磋琢磨**しあえる！どんな考えを言っても**肯定してくれる雰囲気**で発言しやすい。

他校の探究を目にしたたり専門家の人の話を聞いたり本やネットでの調査をしたりして、**見える世界がぐんと広がる**し、自分の行動範囲がいかに狭かったかを知れる。